

## 第6回 美里町総合計画審議会教育文化部会 議事録

年 月 日	平成 27 年 10 月 25 日( 日 )
場 所	美里町役場本庁舎3階 小会議室
審議開始時間	午後9時00分
出席委員	・佐々木勝男委員・手島牧世委員・羽生安美委員・長岡力男委員 ・青木英治委員
欠席委員	無し
審議終了時間	午後0時00分

### 審議開始

- 午前9時00分 開始 -

### 協議

羽生委員 お早うございます。第6回教育文化部会を始めさせていただきたいと思います。開会に当たり部会長の手島さんからごあいさつ頂きたいと思います。

手島部会長 皆さんお早うございます。お忙しい中また毎週日曜日という事で、本当に貴重なお時間をいただきながら審議を開催しております。本当にありがとうございます。6回目になりますが、なかなか中身のほうは進みにくいと思うんですけども、うやむやにできない内容が多いですので、今日もたくさん意見をいただきながら審議をさせていただきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

羽生委員 では3番、前回の協議事項の確認・報告事項ということです。  
お手元に渡っているかと思いますが、結果記録用紙ということで審議結果、企画財政課に提出された第4回教育文化部会における発言の取り消しに対して、委員全員の承認を得るということです。2つ目美里町の将来像を「人つどい、共に築く、幸せと豊かさを実感できる町」にすることです。3つ目、第1章生涯を通して学び楽しむまちづくりの基本方針の全文を「子どもたちは町の宝です。まちづくりは人づくりです。学校教育と幼児教育に重点を置いたまちづくりに取り組みます。」を「まちづくりは人づくりです。家庭教育、学校教育、幼児教育が密に連携し、豊かな人格の形成と生涯を通して学ぶ姿勢を育みます。」とする。学校教育、幼児教育の次に家庭教育という項目を設けるという事です。4つ目、全体会開催の要望。上記の審議、協議結果を受け、他の部会の理解を得るために早急に全体会を開催することを要望するという事でした。よろしいでしょうか。

手島部会長 町づくりの町の字が現行のほうでは平仮名になっているので、そのところはこちらに合わせた方がよろしいと思います。

羽生委員 漢字ではなく平仮名の「まち」ですね。

青木委員 「人格の形成」の「形成」はいいですね。こっちでは多分「人格と」になっていると思うので。

手島部会長 そうですね。

青木委員 「・・・人格と生涯を通して・・・」というところですね。

羽生委員 よろしいでしょうか。では議事録署名人を2名任命という事で1人は部会長の手島さんで、2人目が前回署名人だったので、佐々木さんよろしいでしょうか。

佐々木委員 はい。

羽生委員 よろしく願いいたします。  
では早速議事に入りたいと思います。

渋谷教育次長 すいません。本日欠席の職員という事で、教育総務課参事の友友義孝、こども家庭課参事の奥山俊之の2名が本日欠席となっております。以上です。

手島部会長 ありがとうございます。  
それでは議事1、第1章全体内容についてというところで、お話をしていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。先日やっと1行決まりましたということで、やっと1行を1時間くらいの審議という事で、このままのペースでいったら本当にいつ終わるかなというところと、読み返してみても、皆さんたぶん感じていると思うんですけども、一文一文本当に考えていった場合には、かなり大変な内容になるかと思ひまして、全体的にこれは直した方が良く、削除したほうが良い、訂正したほうが良い、追加したほうが良いというところを、大まかに捉えていったほうが、もしかしたらよろしいのではないかと。文言に関しては一括でいかないと一文一文見ていった場合にこれはかなり非常な量かなと思ひました。というところが一つ。前回、美里町教育委員会のほうでは臨時会を設けまして、10月13日にその時に美里町の総合計画についてお話し合いをされていますので、ちょっとそちらのほうの内容の結果報告をいただいて、またお話をしたいと思ひますので、渋谷次長さんお願いしてもよろしいでしょうか。

渋谷教育次長 内容につきましては、やはりかなりの部分が不十分だという指摘はありました。施策1からして、かなりの部分が不十分だと指摘がございました。具体的な内容につきましては記録がないので説明できないのですが、そのような内容で教育委員会ではお話がありました。

青木委員 教育委員会さんのほうでは総合計画に関しては、ここをああしたほうが良い、こうしたほうが良いというような具体的な訂正みたいなものはお出しになるんですかね。それとも・・・。

渋谷教育次長

具体的には出ておりませんが、施策1の目的の文言からしてですね、誰が作るのかが全然表示されていないとか、の施策の展開でもかなり疑問な点が出されておりまして。ただ具体的にどのような形に直すのかということについて話は出されておりませんが、34ページの施策2の施策の目的では、何の知識なのか、どんな知識なのか、知識を得ると言っているが具体的なものが入っていないといった意見もありました。他にも意見がありましたが、具体的な案等は示されませんでした。以上です。

手島部会長

ありがとうございます。それを踏まえまして、町の教育委員会のほうでも総合計画としては私たちと同じような意見が出されているのが見受けられています。まずは計画の体系に関して、産業が発展するという2040年の将来像に対して、第1章から第5章まですべて「産業が発展し、人が集い、賑わいのある生き生きとした暮らしができるまち」を作るためにやるのかといった場合に、私たちの教育も理念も暮らしもそういったものが全て産業の発展のためということになるのではないかと。私たちのほうで審議された内容とやはりリンクしている意見が大分出ているようです。生涯を通して学ぶまちづくりに関して、学校教育と幼児教育に重点を置いたまちづくりに取り組みますとなっていますが、これでは生涯を通して学ぶまちづくりとういのは、学校教育、幼児教育だけでいいのかという話もやはり出ていました。私たちのほうではそこから具体的に家庭教育とか全体を網羅する形が良いのではないかとということで、その一文には入ったんですけども、そういった感じでやはり教育委員会で計画を立てたものを執行していくのではないかとというような形ですね。そういったところで将来像に関してやはり、疑問をお持ちいただいたみたいで、その中のほうをやはり変えていかなければならないのではないかとのお話になっていいます。また総合計画と総合戦略に関して一体なのかということとか、総合戦略を優先しているやはり総合計画というものがおぼつかなくなってくるのではといったような内容かと思っています。前回やはり「人つどい、共に築く、幸せと豊かさを実感できるまち」のほうで、ふくらみがありほのぼのとした感じで美里町の総合計画的に良かったのではないかとのお話もされているようですね。今のままの現状で行くとやはり教育は産業の発展のためにあるということが強くなってしまふので、教育委員会のほうとしても将来像に関しては変えていった方がよいのではないかとおもうところのようです。内容に関してはやはり引っ掛かっているところが同じで、基本理念はどこにあるんだろうと言った場合に、「美里町行政運営の基本理念」が基本理念なのかとか、そういった疑問を同じような感じでお持ちいただいているようですね。その中でも教育委員会のほうでは、教育委員会に係る部分は点検をし、そしてきちんとしたものを出すというふうな形でお話をしているようですね。わたしたちのほうで部会とか策定委員会でこういう事になったから教育委員会としては責任が持たなくなってしまうので、そういった事にはならないようにという形でお話をしているようです。ですので、私たちのほうで例えばこれが良いんじゃないかと思っても、教育委員会のほうではできないというふうになってきたりとか、その辺が前々回の企画財政課長さんがいらっしゃったときとズレが生じるのですけれども、私たちの意見がだからこのままで行くと全て吸い上げられるのでもなく、今までやったものが無駄になってしまふのは意味がないというところで、全体会をやはりやらなければならないところではないかということです。方向性とか将来像を変えてもいいですよというニュアンスのお話があったので、私たちもそれでは前回のほうの将来像が良いのではないかとということで話を進めて、豊かさとか幸せというところに合わせながら、意識をしながらというところでの施策と

いうところで、審議に入りたかったんですけども、これがもし他の部会で「私たちの部会はもう終わっているので、この将来像を変えるわけにはいかない。」となった場合に、じゃあ私たちがこの将来像に向かって行ったら、大きくまたズレを生じてこの先話した内容が全てダメになる可能性もあるのかなと思われましたので、そのことも考えた上で今回また全体の内容というところに戻ってしまった感じになるんですけども、ただ、30ページまでの方向として私たちのほうでは、現行の総合計画に沿う形、もちろんその方が分かりやすく趣旨が何であるか基本理念が何であるかということが明確であり、またこちらのほうと比べるとそれが見受けられないというところですのでごくズレを感じていましたので、少し前回のを参考にしながら、あとは総合戦略というところがやはり引っ掛かりになっているかと思うんですね。その総合戦略を考えた時には、含むのであればやはり総合戦略がしっかり出来上がっている状態で人口ビジョンとかもある中で、その抜粋とかそういった意味での人口ビジョンというところを、この総合計画の中に入れてくるのであれば大丈夫かなと思います。重点プロジェクトというところは、もしかしたら総合戦略を加味した部分ではないかと思うんですけども、でも実際に総合戦略だと言った場合には、またこれももう少し強みがあるものにしていただきたいかなというところで、どっちつかずのところがある感じがしたんですけども、特に重点プロジェクトというのが各施策の抜粋でしたので、そういった意味では掛け合わせてタイトルを作ってもそれでは戦略としては成り立たないのではないかなと思いました。私が言う事ではないんですけども、総合計画と総合戦略を分けて考えると、どちらも不足している部分を感じられるというのが今のところなんです。ですので、その事と全体的に方向性ということでは全体会の中で承認を得ないと、このまま私たちが中身を言った場合に、私たちの部会だけ違うよと。反対のほうが多くて産業の発展のままでなくてはいけなかった場合、またまるっきり違う意見が出ている場合もあるかと思われるので、やはり一度全体会を通して話の方向性を一致させないといけないのではないかなと思ったので、すいません、また全体内容という事で考えさせていただきたいなということで、すいませんが今日の議題の1番としております。教育委員会のほうでも、図書の普及だったり施策の展開の内容に関する一部。ただこれをこうしますという判断はないんですけども、最終的には教育委員会に関係するものは、きちんと教育委員会で責任を持てるものを考えていくということと、引き続き教育部会と継続した協議を行いたいというお話をされていますので、こちらのほうも先走ってはいけなかなというか、全体会の中でお話をできないかなと思っていました。それを踏まえて私としては委員長さんに、審議会の委員長さんに出席していただいて、この部会のほうに入っていたくないかなと思うんですけども、次回1日、来週が全体会になります。ただその時には全大会の中でお話ができる状態でない、またこのまま部会を続けていくことになってしまいますので分からないままに。ですので、その前に会長さんに出席していただいて会議を設けたいと思うのですが。私たちのほうではこういった方向で話をしているというところを理解していただかないと、そしてそれを今度の全体会でお話ししたいという内容をやりたいと思うんですけども、ここ1週間以内のことなので非常に難しいとは思うんですけども、審議委員長さんに出席していただくというのは・・・。

渋谷教育次長

私はこの場で返事はできないのですが、委員長は徳永先生ですよ。ご都合もあると思いますので、お願いはしてみますが、ただ時間的にですね、1日の前にということですか。

手島部会長           はい。

渋谷教育次長        そのへん徳永先生のご都合を確認しなければなりませんので、それについては確認させてください。

手島部会長        まずは会長さんを入れて話を一度したいという、したいというかお話に入っていていただいて、全体会のお話をしたいと思うんですけどもいかがでしょうか。

佐々木委員        全体の委員長さんにこの会議にご出席いただくと大変ありがたいのですが、伺うとまだはっきりしないという事ですので、その辺の動きを部会長さんのほうで確認していただいて、進め方や全体会議の中でどんな話を提案したらいいのか、みんなで確認する必要があると思います。

手島部会長        ありがとうございます。日程に関しては月曜日から日曜日までの1週間の中で行わなければならないと思うんですけども、最悪の場合というか審議会が始まる直前30分でもいいので、とにかく何もなかったところでポンと本会議でお話ししても良いんですけども、部会として話をしたいという、個人の意見としてではなく部会からの意見としてお話ししたいということで、その前に委員長さんにお話をしたいと思います。先方の都合があるかと思しますので、そのへんを前日土曜日に大丈夫でしたら土曜日に。ダメでしたら日曜日の審議会の前に第7回をもって来る。そこも難しいようでしたら月曜日から金曜日までの先方に合わせた時間でこちらのほうが集まるといって取りたいと思うんですけども、よろしいでしょうか。

渋谷教育次長        部会の総意という事でよろしかったですね。ただ大学の先生ですのご都合をお聞きしないと何とも言えないのですが、一番可能性があるのが日曜日の全体会前の1時間くらいが可能なとは思っていますが、その方向で進めた方が良いのではないかとと思うのですが、どうでしょうか。

手島部会長        できれば、例えば会長から、ここはこうしたほうが良いと言われたところを直す時間があればいいのですが、審議してそのまま全体会でもいいですけども、もし難しい場合はその時間で。

渋谷教育次長        それは企画財政課、事務局のほうに話はします。

手島部会長        お願いします。一番が全体会で私たちのほうでは、やはり方向性と将来像。将来像が変われば全体の部会に影響する内容になりますので、それを将来像が変わるものと思ってやってしまうと、変わらなかった時の大きなズレがとても怖いですし、学校教育を考えた場合に将来像がこのままではというのは分かっていたのではないかとと思うんですが、産業という意味の使い方とかね、注釈を入れて使いますとかといった場合にはそのままになるので、今度は逆に私たちのほうで産業の発展のための・・・ちょっとまた分からなくなるんですね。といことを考えていくことになるのか、振り出しに戻るかどうかは分かりませんが、そこをとにかく全大会の中でお話をしない限りは進まないかなと思います。これは委員長さんを中心にしっかりと全体的なところを、皆さんで共有しなければならぬのではないかと。ですので、私たちのほうでは美里町総合計画の構成ということで、前回お話ししたところに、前回の資料と違うのが何か所かありまして、

5本の柱、元々の第5章までを柱とした場合ですね。これは平成19年からの抜粋になります。教育文化とか医療福祉、産業・雇用、生活基盤・環境、定住化・住民活動・行財政といった項目のタイトルに関しては現行の総合計画の中から抜粋してあります。ただ、これを入れるにあたって今の3本の柱であったところが大きく変わってきますので、その点がどこまでということもあるかと思えます。また総合戦略の捉え方とか、総合戦略を入れると言った場合、その辺もやはり本当は第1回の中で総合戦略に関してもうちょっと詳細にお話がなされていけばつまづかなかったと思うんですけども、そことあと人口ビジョンということですね。この構成がしっかりした段階で中のほうが生かされてくるかなと思っています。全体の構成としてはこのような感じで、次回委員長さんを交えてお話をさせていただいてそのまま本会議に入りたいと思います。本会議で委員長さんもポツと言われても全然分からないと思いますので。本会議で変えた方が良くよと言ったときに、何で変えるのかということから始まると思いますので、部会の流れ、もう6回もやっている流れをそこで喋ったら私たちが2、3時間割いてしまう、本会議で使うことになりますので。まず、どうしてこういう経緯になったかという事を理解していただきたいと思っています。そして、またこの部会では大変困っているということを知っていただきたいかなと思っています。文言も然りなんですけれども大変困っていると。これを本当に今日たぶん文章をやっていったら、この31ページが終わるかどうかわからないかと思っていました。ということですので構成をやっていきたいと思っています。もう一つは今回作ってきた総合計画全体的な部分というところがあるんですけども、見直して別紙というところは先ほどの構成についてという、趣旨とか総合計画の基本理念を入れて、重複しているところをちょっと削除していただきたいかなという内容になっています。審議で気を付ける事とはしたんですけども、全体的に基本方針と施策・・・、政策、施策が噛み合っていないので混乱しているところがあったということ、やはり住民の声、意向調査も含め反映されているかどうか、そういったところを審議の中でも気を付けなければならないのかなということと、文章表現に関しては抽象的であるという前回指摘がありましたので、やはり住民に分かりやすい表現という言い方にはしたんですけども、関係者だけが分かる文面ではなくて、前回企画財政課の方が来て説明をして、それでやっとこの一文はそういう意味なんだなということにたどり着くんですけども、その説明が無くても分かるような文章を最初から提示していただくと、たぶん問題が無かったのではないかなと思いますので、全体的なところになると思いました。施策の目的と現状と展開、関連事業、施策の指標の順番で全部の章が成り立っているんですけども、それに対してやはり目的というのがあって、それに向かって中身が決まっているので、やはり目的が明確でないともた難しいかなと。例えば私たちのところの33ページだと、「住民自ら行動できる学習活動をつくります。」というのが目的なんです。まずこの文言から「学習活動を作る」・・・、「住民自ら行動できる学習活動をつくります。」で引っ掛かってしまいました。ということで目的は明確で明瞭に何をしたいのかということがかんがえなければいかなと。学習活動を・・・。

長岡委員

今のところは私も文言として「住民自ら行動できる・・・」どこが主語なのかということがかね。「住民自ら学習活動できるような場を作ります。」なのか、「住民自ら作ります。」なのか・・・。「学習活動をつくる」・・・「学習活動」とは何だと。

手島部会長

そうなんですよね。そうすると進まないんですね。

長岡委員

私も引っ掛かっていました。そこは。

手島部会長

この目的が分からないと、じゃあ何をするのかというのも出てこなくなってしまうし、それに沿ったものなのかということが分からなくなってしまうので、非常に進みにくいかなと思いました。それから当初お話しされている現状と課題に対しての展開がどれであるかが分からない。具体的に関連事業だったり、展開とかというものの整合性ですか、目的と課題と展開、その辺が同じ方向を向いている、そしてどれがどれと関連しているかということが非常に分かりにくかったので、一つひとつ本当にこれは何ですか、これは何ですかと一文一文聞かなければ今のところ分からない感じがしています。指標に際しては目標に対してですので、この目標、目的がきちんとしていないと何のための指標で、これで考えられることなのかということが曖昧な感じがしていましたので、もちろん注釈も必要であるし、この指標でこの目的が課題解決というか、できるものなのかという…。極端な話はこの自主学習というものは何かということから始まって、この回数が増えればいいのか減ればいいのか。増えたところでこれがインターネットの学習手段とか利用とか例えばそういったものとか、「小学校区を単位として、学校、家庭…」というところですね。「…地域づくりを進めて行きます。」といった展開に沿っていて、その指標なのかと。なんか指標として一つポイントを持ってきたならば、これを網羅するものでなければならぬんじゃないのかなとか思うとこの資料でいいのかと。というところで多分施策の目的というものがあって、それに関して全てがあると思うんですけども、そこが全体的に揺らいでいる。先ほどの教育委員会で読書の普及による知識の向上で、何のといったところもそうなんですけど、全部が、誰が何のために何をするのかといとこで分かりにくいと思いました。この目的が分からないとまた将来像と一緒に全体と一緒に、各施策の目的に沿った内容というところでの審議が難しいのではないかと感じていました。第1章のところ、前回やった31ページですね。「第1章生涯を通して学ぶまちづくり」とあるんですけども、全部の柱のタイトルとしては「生涯を通して学び楽しむまちづくり」なんです。前回気付かなかったんですけど表題から間違っているのか、わざと「学ぶまちづくり」なのか。また混乱の1つなのでどちらかに統一でと。そういった場合にこれは平成19年のままだと「障害を通して学び楽しむまちづくり」となっていて、「楽しむまちづくり」というところで私ちょっと表現が気になって止まってしまったんですけどもすいません。「楽しむ」が「まち」に係っているのか、例えば楽しく学ぶのか、「楽しむまちづくり」とは何だろうとか「まちづくり」を「楽しむ」のかというふうに考えたら表題で引っ掛かっています。

青木委員

そうですね。学びを楽しむのか、学んでそして楽しむのか分からないですね。

手島部会長

そして「まちづくり」と続くので「まちづくり」といったものが…。「楽しむまちづくり」にするのか。「生涯を通して学び」までは生涯学習の観点からのところですよ。楽しむまちづくり…。すいません、楽しむまちづくりの表現までで、すいません切れています。渋谷次長さん、すいません助けてください。

渋谷教育次長

はい。

手島部会長 31ページの第1章のここは間違いでしょうか。それともわざと「・・・学ぶまちづくり」にしたんでしょうか。

渋谷教育次長 これは前回の平成19年のままですね。

手島部会長 19年のままだと「・・・学び楽しむまちづくり」なんですね。

渋谷教育次長 前回ですか。

手島部会長 この一文だけがこうなっているんですね。この31ページだけが。

渋谷教育次長 第1章ですよ。「生涯を通して学ぶ楽しむまちづくり」ですね。

手島部会長 「楽しむ」が抜けているんですね。ただ私たちはすんなりと学ぶまちづくり、生涯学習だなどと思ってきたんですけども、「楽しむ」が入った時点で・・・。

渋谷教育次長 部会のほうで審議いただきながら、教育部会は訂正したほうが良いという意見であれば、意見として出すことになると思います。それについてご審議をお願いすることになります。皆さんでお話をお願いします。

手島部会長 はい。状態を同じものにしなければならないというのはやはり混乱を招くので、同じとは思いませんけれども、これに関して今の段階だと「生涯を通して学ぶまちづくり」ではなくて「生涯を通して学ぶ楽しむまちづくり」ですね。

羽生委員 改訂版のほうでも「楽しむ」が入っていますが、こちらの下にある文言では「楽しむ」に触れたような言葉はないんですね。

青木委員 前回、「楽しむ」をあえて入れたのは、何でなのかという・・・

佐々木委員 ここだけだね。変わったのは、なぜ書いたかだね。

青木委員 「楽しむ」に引っ掛かったのか、それとも単純に抜けたのか。ここに「楽しむ」のあれが無いんですね。

羽生委員 「楽しむ」に関連するような文章があればなんですけども・・・。

渋谷教育次長 確認しますか。あるいは意図するところがあるのかということ。

佐々木委員 休憩を取って今それを確認できれば確認してもらえれば・・・。

渋谷教育次長 確認してきますのでお待ちください。

手島部会長 はい、お願いします。確認していただく間休憩します。

～休憩（午前9時42分）～

～再開（午前9時47分）～

手島部会長 再開してよろしいでしょうか。ではお願いします。

渋谷教育次長 今、事務局の企画財政課に確認しました。これは間違いという事で、平成19年4月に策定した総合計画のとおり「生涯を通して学び楽しむまちづくり」ということで、間違いという事で確認をしました。それから先ほど部会としてですね、事前に委員長のほうとお話をしたいという件を、お話をしてきました。やはり部会として全体会の中でこのように直したらいいのではないかと提案していただきたいということで、事前に先生とお話しするのではなくて全大会の中でお話をいただきたいという回答でしたので、事前の委員長との話し合いは特には設けないという話でしたので合わせて報告をいたします。

手島部会長 じゃあ全体会の中で、私たちが審議した内容を時間を取って話をして良いということですよ。

高橋まちづくり推進課長 この部会で審議したことを全体の審議会の中で、部会としてはこういう形の方針の中でこのような取り組みをして、こういう形の文言にしたいという意向をお話しいただければ良いと思います。

手島部会長 全体会の中でお話しすることは全然一向に構わないんですけども、多分それなりの時間を使わせていただくことに・・・

高橋まちづくり推進課長 今までお話ししていただいた内容のほうをですね、部会でこのようなことを審議したというものを作っていて、今ご説明しております総合計画案につきまして、これが合わないという事であれば、このような形で直してご提案いただきたいということになります。

羽生委員 それでは前もって委員長さんにこのような内容を、お話をしますというような資料をお渡ししたりすることは可能ですか。

高橋まちづくり推進課長 そののところも、私たちについてはこういった形でやりますというものを全体会で審議してもらうという形になると思います。それぞれの部会で審議していただいた中身のほうを訂正箇所あるいは書き直すというものを作っていただいてご提案いただき全体会で審議していただくという形ですね。

羽生委員 確認したいのは、その場でさっと内容を全体会で……。毎回のことですが、議論ではなくて口論になってしまうような節があるのを気にしていたので、委員長さんに先にこういう話をしますということをお伝えしたほうが良いのかなとは思っています。

高橋まちづくり推進課長 部会で審議いただいた事ですから、部会の総意としてこのような形で直して欲しいということを作ってまとめていただき、それについて全体会の中で審議いただくという形になると思います。

手島部会長 教育文化部会として少し説明とかお話をするような時間をいただくという事でいいんでしょうかね。

高橋まちづくり推進課長 説明するというよりは、結局は部会の中でお話しした結果としては、こうではなくてこういう形のものにしていただきたいという結果での報告をしていただく形になると思います。

青木委員 変更箇所が分かるように全部紙に分かりやすく書いて出すと。それを皆さんに配布して審議していただくという形になるのかなということですね。変更箇所が多すぎるので、それをまとめるのが多分大変だということだと思います。

手島部会長 例えば、こちらで……。こちらというか、このようにというのはできなくはない……。できなくはないというか、もちろん19年の構想、現行の構想をもとに動いているだけなので、それに例えば立体図解を足しましょうとか、総合戦略をやるのであれば、それは明確なもので入れてくださいといった内容ですね。人口ビジョンは人口ビジョン作成の手引きに沿ったものを作っていたいて、それに対しての抜粋であれば良いのではないかといいところなんですけれども。イメージとしては紙だけではちょっと……。こういった感じで作った方がいいんですかね。目に見えるものとして。文書だと分かりにくいので説明する時間が無ければ、案として策定委員会ではないですけれども、こういうふうにやっていきますよ、ここに何書きますよ、何書きますよというのを、しないと分からないですかね。

青木委員 構想自体がガラッと変わるのであればそうですね。

手島部会長 文章的にはこれだけなんですけど、こっちは多分すっきりさせているだけなので。

佐々木委員 全体の構成だったらそういうふうにしなくても、書き方によっては、本文の何ページについてはこのような構成、次のページはこのような構成というふうにして話すことはできると思います。もちろん目次なんかも全体として掲げておかないと。全体の中身はこのような形になりますと。具体的にそのページの目次の部分について直して欲しい所はここですと書いておかないと、全体会の中の記録に残らないので。それをもとにしてどういうふうに書いたらいいかを論議することになると思いますので。ただ言いっぱなしではいけないので、そのところはお願いしたいし、もし部会として緊急に集まって、このような提案をしたいけれどもということであれば、やっば

り緊急に時間を取って集まって確認する必要も出てくると思います。

手島部会長           ありがとうございます。

佐々木委員           部会全体の一つの意向ということになりますので。

手島部会長           見やすい形のものを一枚用意します。説明に関してはこの程度で良いのではないのかなと、今回の構成について程度。柱と基本理念、基本理念と将来像の大きな変更と総合戦略の位置付けだと思うんですね。それが明確になって欲しいだけなので。バランスとしては現行のところはやっぱり分かりやすい。趣旨があって策定の経緯があって、そこに多分入れるとしたら総合戦略を総合計画の中を含むというのであれば、総合戦略に対しての地方創生の本当のそのものの説明と、美里町の総合戦略に関しての内容が入っていけば、自ずと重点プロジェクトというのが何なのか。その中では、こちら側としてこういうふうに考えてこういうふうに行ってきましたという、いかがですかとは聞かないで。

佐々木委員           そうですね。それはあなたたちの部会の考え方で尊重しますということだから、そうなると思います。それはダメだからやり直ささいということをお他の部会からはそういう事は言いにくいと思いますから。

手島部会長           委員長さんがもしも部会に入ってもらった場合に相談したかったのが全体の文言なんです。あまりにも、先ほど主語述語という話があったんですけども、つじつまが合わない文章を全体的なところなので、この量の訂正はかなり時間がかかっていく。どこまでというところ、あとは教育委員会が、これではおかしいので今から話し合いをしていきますといったところで、教育委員会で今一生懸命直しますよというような発言がある中で、私たちも同じ紙を見て同じようなところで引っ掛かって話をしているというのも、もったいない時間じゃないのかなと。

高橋まちづくり推進課長   部会の方に委託されているのは、こちらの部分を審議されたいとお願いされている。町のほうで考えた案にたいして、どのような形などの意見のとりまとめをお願いしているものだと思う。全体像についてはそういうご意見をお話ししていただいていると思いますが、時間も無いし、第1章はこちらの部会でしか審議できないのでこちらのほうで意見を取りまとめたいただきたい。教育委員会の方は委員会で審議して取りまとめたいただく。それぞれ出てきた段階で考えればよいので、この部会でこういう形で直していただきたいと取りまとめることを全体化の中で話されたと思う。

手島部会長           もちろんそちらの内容に関して、どういったものを訂正して追加して削除するというお話にはなりません。ただ文言に関して例えば34ページ。施策の目的「知識を得る機会を提供します。」とは、まずはこれから、読書普及による知識の向上というタイトルからですね。この知識の向上とは何でしょうかというところから一つひとつやはり質問をして回答を得ないと進まない。例えば1個やっていきたいと思います。

高橋まちづくり推進課長 質問というよりも、逆に部会として・・・

手島部会長 策定委員の皆さんがせっかくいらっしゃるので、どうしてこの策定にあたったかというところですね。知識の向上というのは策定委員会のほうではどういったふうに捉えて策定されたのかをちょっとお聞きしたいんですけれども。どのページでも大丈夫なんですけれども。

渋谷教育次長 そうですね、主語が抜けているところは見られるんですけれども。その辺ですね、部会の中で審議をしていただいて直していききたいと思います。

高橋まちづくり推進課長 恐らく、すみません私が勝手に解釈したところなんですけれども、知識はいろんな知識があると思うんですけれども、広い意味での例えば具体的に「何々の知識」という書き方をしてしまうと限定されるということで、広い意味でのこのタイトルで一番見出しの部分ですから、そこからこのタイトルをもとに現状と課題や施策の展開といったところに具体的なこういうことですよというのを、表示している総合的な見出しという考え方をしてこのような「知識」という表記になった気がします。

手島部会長 全体的を網羅すると言った場合にはやはり中身との整合性というところが出てきますし、読書普及というふうに考えた場合に、これだけで知識の向上というところで良いのかというところに引っ掛かってきたりというのがあります。それに対しての目的が知識を得る機会の提供なんですね。まず先ほどの知識、誰の、何の、誰が提供、誰が何の知識をどこが提供しますかという事ですよ。逆に聞くと。それがあって知識を得る機会を提供しますという目的。そんな感じで一文をやっていくと要は一行に対して1時間2時間かかっていくというのを、前回こちらのですね、やったときに感じたもので、この状態でやっていっていいのか、そしてましてやこれを良いと言える状況ではない。申し訳ないけれども多分、多分審議員の皆さんも感じていると思うんですけれども、このままでは出せないと思います。これを審議しましたと言って、良いですよというような内容ではないと思います。それを審議するに当たってはかなりこれ以上にもっと労力を使うんですけれども、やりかたとしてこのままでいいのかというのを私は今日お話ししたと。

一文一文ではなくて、全体的にまず見ていこうかなというのは今日ちょっと最初にお話はしたんですけれども、ただその目的とかの施策の展開とかの整合性とか文言に関しては、全体的に見直しをしてほしいというのが私たちのほうでの意見なのでこのままでは大変だと思いますね。指標もこれにしてくださいと私たちが探すのではなくて。

高橋まちづくり推進課長 探すものではなくてということではなくて、町の方としての視点、プランでありますから、これに対して、こちらの視点でとか、こういうものにしていただきたいというものがあればご意見として賜りたいということでお話しさせていただいているところですので、一言一句全部すべてそういった形で直すのであれば、すべてそういう形で直したものを用意していただきたいというものを部会のお話合いの中で決めて、こういうものにしてほしいということで、ご提案いただきたいという事ですから、その中身についてどうしたいのですかと私どものほうで担当の方で考えたというのはこういう意味合いですと説明のために出させていただいているわけです。その中でやりとりしながら

ら、こう直してきました、直しましたがいかがですかというような会議を委員さん方と話し合いながら進めていけばいいんじゃないか思います。

手島部会長 やり取りした内容は無駄にならないという事ですよ。

高橋まちづくり推進課長 あくまでも部会としての意見の取りまとめの段階ですから、その後も全体会の中で話し合われることとなります。各部会でそれぞれ分かれて審議していただくのはそういう意味合いで、各部会の中で各担当課のほうで作成したものを審議いただいて、ここはおかしいので直した方が良いでしょう、ここはいらないから削除しましょうかというようなご意見をいただきながら、直していくという作業になりますし、これは必要なので入れてくださいといったものについては、そのお話しを進めながら委員さんの意見を取り入れて確認しながら進めて行くというのが、私はたまたま他の会議でやっていたものですから、そういうやり方をして部会としてこの計画案に対してはこうしていただきたいという最終的な意見として出していきたいと伝えていきます。

手島部会長 どうでしょう。一つひとつもちろん文章というのは確認しなければならないんですけども、この一文一文進めるのは可能です。ただこの量の文言の訂正に関してはどうしたら良いと思いませんか。

羽生委員 前回みたいに一文一文は、ちょっと時間的には難しいですよ。

青木委員 それぞれ委員さんは引っ掛かっている文言というのは、それぞれチェックしていると思うので、それをそれぞれ毎に見ていけば。ページごとに例えば33ページのどこが直した方がいいとかというのをそれぞれの意見として出して、この文言はこう訂正していきましょうとか、この文言を追加しましょうとか、各自が意見として見てきた状態で審議していけば多分スムーズにいくんじゃないのかなとは思いますが。多分すべてを訂正したいと思っている方はいないのかなと、全文を変えたいという方は多分いないですよ。

手島部会長 全文というか構成をいじると全文が変わるかなと。例えば現状と課題が、先ほど言った一番初めのところですね。現状と課題、現状は何で課題が何なのかというのがはっきり見えること。それについての展開が分かること、と言ったら全体なんですね。並び替えなり、結局設問と展開と事業というところが、例えば一段が例えば33ページでいったらインターネット云々という事に関して、施策の展開で1行目がそれにあたり、関連事業の一段目がそれにあたるんだよといって、それが施策の指標の中に含まれているんだよというのであれば分かる。2段目子供たちが、云々が2段目のインターネットで、こちらの2段目であるべく、どれがどれでということを探している段階ですよ。この関連性といったところと文章といったところは、まずは整理をかけていただきたいかなと。だから私たちのほうで現状が何で、課題が何々であるってところまで出して行って、じゃあこの現状がこうでここからの課題が何なのか。その展開が何で。っていうふうに見ていく。一行一行だけこの文章を見るのもそうなんですけども、この全体のまず構成と全体的な施策の目的のところですね。

青木委員 現状と課題と施策の展開が前にも企画財政課が来た時も言ったと思うんですけど、そこがちゃんとリンクするような書き方を何とかしてほしいと。番号を振りすぎると分かりづらいという話もあったので、その辺をうまく工夫して何とかやってほしいという事として、こちらの要望として出さざるを得ないのかなと。これを例えば全部訂正して一文一句、指標も考え直して町が出してもらえないと審議できないとこちらが言ってしまうと、到底今年度中には終わらないということになっちゃうので、こちらとしてはこちらがやるべき作業を、かなりきついとは思いますが、できるところ、できるところとかみんなが引っ掛かっているところを優先して、もうとにかくそこは進めて行くという感じでしていったほうが良いのかなと。時間も限られているので。

長岡委員 例えば、ここをこういうふうな理由でここを直したいんですがいかがでしょうかと伺いをたてるべきです。

手島部会長 伺いはたてないですね。

長岡委員 こういうわけでここをこう直しました、ここを直そうと思いますというふうに・・・。

青木委員 100パーセント反映されるかどうかは分からないでしょうけども、やっぱり我々の意見として、ここはこうしたいというものを尊重しますということなので・・・。

長岡委員 ここがおかしいから元に戻すとかという意見が出ればね、それは仕方ないです。

羽生委員 部会としてはこうしてくださいとお願いしていくと。

青木委員 諮問されている状態なので町長から。

長岡委員 こうしましたという感じで良いんじゃないですか。

青木委員 策定委員会であれば全て変更という形も時間があれば取れるんでしょうけども。どうしても諮問に対して答申しなくてはならないという状態でしょうから。ある程度自分たちの役割の中で・・・。

羽生委員 部会として、先ほどおっしゃったように現状と課題や施策の展開だったり、事業をリンクさせるように表記を直してくださいと大まかに。あとはページ数ページごとに気になる文言を、いやこの言い方はちょっとこうじゃないのということを出すような形でしかできないんでしょうね。

青木委員 例えば現状と課題にこの課題もあるとか、解決策の展開にこれを付け加えてほしいというのがあれば、どんどん出していけば良いと思うんですけど。なんか提案があれば出していいと思いますね。別に今までやってきたこの実績のある指標にこだわる必要性も正直ないと思うし。

羽生委員 32年まで書いてありますけど、ここまで別に求めているものでもないでしょうし。

青木委員 新たな指標を設けることも良いと思いますし。全国の学習調査じゃないですけどアンケート調査してみても良いでしょうし。お金がかかることですけど。さしあたって33ページから見えてもいいのかなと。

手島部会長 31ページに家庭教育が入って、あるいは生涯学習この設問ありますよね、学校教育、幼児教育・・・。例えば一番目「町民一人ひとりが学ぶ喜びと尊さを知り、それぞれのライフサイクルに合った学習活動を自主的に実践する美里町をつくります。」で「ライフサイクルに合った学習活動を自主的に実践する」はどこに係ってくるのでしょうか。前回お聞きした下の「“まちづくりの原点は教育”を合言葉に・・・」合言葉としては使っていないとか、「ゼロの学校づくりを進める」、学校づくりっていうのを進めるのかって言うところですね。実は私怪しいことにかなり引っ掛かっているんですね全部のところ。

青木委員 良いですよ。引っ掛かっているところを全部出してもらって。合言葉にというのはこの合言葉にしたいのかという事だと思うので。

手島部会長 一番始めに戻ってしまうんですけども、ですますって言うところの良いのですかっていう、抽象的でいいのですかっていうところが、「環境を作ります。」とかそういう二つですね、と言ったときに、「支援します。」「応援します。」「努力します。」とか本当に断言していいのですかっていったお話もありましたよね。そういったものをやるとこの文章がこのままで良いのかなって言うところが全体に。例えば今日ここまではいきたいなと思ったのが、施策の1のところまでだったんですけども、生涯学習のところから先ほどの・・・。「楽しむ」というのは、もっと大きく含まれたいという事だと思うんですけども、「楽しむ」というのは何に係ってくるのかなという。

高橋まちづくり推進課長 基本方針のこのところは書き間違いであって、前回はそのまま継承するという事です。この部分については議論する必要はないと思うんですけども。この部分は記載漏れであって、その以下の文面のところでの直しになるかと思えます。この柱そのものは前回と変わらないということで策定委員会でも一致した考え方です。

青木委員 これを考えると前回の総合計画に戻ってしまいますので。ここは変わらないという事で良いと思います。触れないんでしょうね。

高橋まちづくり推進課長 計画の中で、構成を切り替える場合、5章あったものを4章にしますとか3章にしますとか、そういう段階での話になる。

長岡委員 触らないでいきましょう。

高橋まちづくり推進課長 すいません、訂正させていただきたいのですが、訂正というかご審議いただきたいのですが、生涯学習のところに「ライフサイクル」という言葉があるのですが、「ライフステージ」と直した記憶があるんですけども、「ライフサイクル」ではなく「ライフステ

ージ」に訂正をお願いします。申し訳ありません。直したものが反映されておりませんでした。各段階でという事で、その都度その段階で学習活動を、それぞれ違ういろいろな方々がいらっしゃいますので、これまではどちらかという町のほうで主導という形での講座等をやっていたものを、地域ごとや同じ目的を持った方々で活動する方々が、活動するグループに自主的にどんなものを、ということを実践していただくためのまちづくりをしていくという意味合いで、詳しく説明をするともっと長くはなるんですけども、簡潔にまとめさせていただいた結果このようになりました。

手島部会長 学習活動を自主的に実践する、これって学習活動っていうのは住民が自主的に学習活動をすることによって、「美里町をつくります。」・・・。

羽生委員 内容としては町でやっている事業みたいなものは、サークルみたいな、活動するような方向性でというような内容でよろしいですか。であれば「つくります」ではなくて「目指します」とか。

手島部会長 というか町をつくるんじゃなくて、学習活動をする人たちが自主的に活動する人たちが、支援をどこがやるのかなという、まずどこが。自分たちがやる・・・、だから・・・。あるいは自主的に学習活動をする人たちを増やしていきましようということなのか。

青木委員 そういう事なんでしょうから。自分たちのテーマを見つけてサークル的に集まって学んでいきましょう、学べる場を増やしていきましょうみたいな事なんでしょうから。

佐々木委員 行政側としては「つくります」ということね。33ページ。これは誰がという事が分からなくて、例えば「行政がつくります」ということだと思っんです。ここでいうのは「住民自ら行動できる学習活動」、さきほどのライフステージということで、それぞれの段階、発達の成長の段階の中で学習して学ぶ。学んだことを元にして自分たちが行う学習活動へ持っていくわけだ。行政はそのお手伝いをするということなんです。「つくります」これが大きな目標になっているので、表現として変えるならば、「支援します。」「サポートします。」とかね。

手島部会長 そうすると分かりやすいんですけどね。

佐々木委員 それは施策2、あるいは施策3の項目を見ると共通した言葉がありますので。ですから、ここだけは飛び抜けていて、行政が綱引いて連れていきますよというように捉えられるので、表現の仕方を変えて貰いたい。このようにしてチェックしたほうが良いかと思います。

高橋まちづくり推進課長 そうすると、自主的に実践する段階で支援するとか。

佐々木委員 最初の段階は行政側が集めて、学びの機会を提供して、学んだ方々が町を活性化できるものを自分たちで考えてやってみようというような機運をバックアップしてあげると。こういうことが行政側の役目でないかと考えますので、そういうことから考えるとこの表現は引っ掛かるという事です。

羽生委員            つくりますと言われてしまうと、例えば何か一つ講座をしました、その参加したいという人たちはこれからサークルで活動してくださいね、みたいな印象を受けてしまうんですけど。

手島部会長            ただそれが今度は行政主導なんですね。つくりなさいっていう。自らじゃないですよ。だからそこがなんか矛盾を感じてしまって。自ら作っていくのを、自らやっていかなければならないことを行政がつくりますと言っているのかなという。なんか分からなくなってきました。すみません。これ元々は町民の人達に何をさせたいのですか。

高橋まちづくり推進課長      この言葉でいうと自主的に実践する学習活動だと思います。この並びを変えたとなくとなく伝わりやすいのかなと。

手島部会長            「自主的に実践する学習活動を支援します。」ですね。

高橋まちづくり推進課長      この並びのところを変えるといいのかも。

手島部会長            それだと分かってきますね。「学習活動を自主的に実践する」となると分からなくなってきましたね。「自主的に実践する学習活動を支援していきます」となれば。了解しました。後半 33 ページに行ったときにまた同じように引っ掛かってくると思うんですけども。

高橋まちづくり推進課長      確認させてください。「自主的に実践する学習活動を支援していきます」ということでよろしかったですか。

手島部会長            「ライフステージに合った学習活動」ですね。「ライフステージ」っていうのは学習活動に係ってくるんですよ。だからそこだけ変えてしまうと、「ライフステージに合った自主的な学習活動」になってしまうので・・・。

青木委員            「実践する」って要りますか。「ライフステージに合った自主的な学習活動を支援します。」とかでも良いのかなと思いますけど。それから「自主的な」は「主体的な」と個人的に訂正していただきたいというのがあって、辞書ではほとんど同意語として扱われるんですけど、教育現場としては「自主的に」というのは宿題があってそれを自分から進んでやるというのが「自主的」で、「主体的」というのは何をするのか自分で考えて、それを自分が主体となってやっていくという意味合いの違う言葉として使われているので、ここを「主体的」という言葉にすると良いかなと思います。

佐々木委員            そうですね。

手島委員            「主体的に活動する」・・・、ちょっと待ってください。

青木委員            「主体的な学習活動を支援します。」と。ライフステージと町から訂正がありましたので。ライフ

ステージですね。

手島部会長           これカッコ書きで要りませんか。

青木委員            その意味ですね。「各年代に応じた」とか。

高橋まちづくり推進課長       印で下に説明を入れたいと思います。

手島部会長           最初に言った文言のチェックしてくださいと言ったものもやりながら行きたいと思います。では確認します。「町民一人ひとりが学ぶ喜びと尊さを知り、それぞれのライフステージに合った主体的な学習活動を支援していきます。」「合った」が生きていましたが。

佐々木委員           「沿った」でも「合った」でもいいし。

手島部会長           どちらがよろしいでしょう。

佐々木委員           わたしはどちらでも良いと思います。

青木委員            「合った」のほうが良いんじゃないですか。

佐々木委員           イメージは分かりますか、ライフステージって。

手島部会長           ただ多分、注釈っていうか説明を入れた方が良いと思います。

佐々木委員           長くなりますよ。

佐々木委員           ライフステージそのものの考え方っていうのは、人間は生まれたら墓場に行くまでの、それぞれ例えば、乳児期・幼児期という刻みを入れますよね。刻みを入れたときに乳児期のなかでは、どういうものを獲得して、獲得するというのは成長していくために自らあるいは、相手から与えられて身に着けていかなければならない、どうしてもそれがあるんです人間として。幼児期とかあるいは学童期だとか。例えば中学生の段階、高等学校の段階、あるいは社会人ないしは上級の学校、専門学校とかそういう中で身に着けていかなければならないものがあって、そういうものともう一つは行政側としても一方の柱があるんです。人間としてという柱と行政側の柱がある。行政側としては行政の課題というのがあるんです。これは成人の初期の段階でもいいでしょう、そういうのを一つのモデルにしたときに、ここの年代の時にはどういうものを要求しているのかなという要求している課題を把握しないと一つのテーマが出てこない。学ばせる内容が。合わせて、行政側としてどうしてもこの年代には絶対学んでほしいという必要課題。学ぶ人の要求からいうと、学ばせる側の必要課題。そういうものを組み合わせて、こちらの基本的な年齢に応じて学ばなければならぬ、絶対学ばないと進めないというのとこちらのものを組み合わせる。ドッキングさせてかき混ぜたとしますね。イメージとして。それを組み立てる。それを誰がするか。

まずは行政側として音頭を取って組み立てて、その年代の方々に「このような講座があります」とPRして提供し、その提供したものを学んで、学んだ人は1年とか2年とか年数があるでしょうから、そういう中でいろいろなグループができます。そのグループの中から主体的な活動が生まれると。そういうことをライフステージという中で勝ち取ったものを考え行動できるような人づくりというか、こうやってというのがライフステージの考え方なんです。ですから必要課題と要求課題ばかりではなくて、人間として成長するためにどうしても身に着けなければならない。ざっくりばらんに言うと3つ必要だと。要素としては、それを混合してそのエキスをそこから取り出す。取り出したものをその年代に合わせた内容のものを学ぶべき課題としてもっていくというような捉え方になると思います。

手島部会長

今のは生涯学習の、第1章全体にも関わってくる内容かなと思いました。では学校教育・幼児教育に入ってよろしいでしょうか。「まちづくりの原点は教育」を合言葉に、学力が高く、いじめがゼロ、不登校がゼロの学校づくりを進めます。そのために、小・中学校において、確かな基礎学力の向上を図るための教育、一人ひとりの個性を尊重した人間性豊かな教育、地域とともに歩む学校づくりに重点的に取り組みます。就学前の子どもたちは保育所、幼稚園、又は在宅と異なる環境の中で乳幼児期を過ごしています。すべての子どもたちが必要な保育と質の高い幼児教育を受けて、すくすくと成長できるよう、保育と幼児教育の環境整備を総合的に進めます。」私的には「合言葉」のところと「学力が高く」というところと、「学校づくりを進めます。」というところですね。あとは下の「質の高い幼児教育」というところ。あとは「環境整備を総合的に進めます。」ですね。ここが学校教育、保育幼児教育の環境整備だけではないかなと思うので、後半に出てくる、多分ここが大きく出てくると思うんですが、学校再編ビジョンとかそういうところの施策4ですか、この辺にも係ってくると思うんですけども。いかがでしょうか。質問良いですか。「まちづくりの原点は教育」を合言葉に・・・」っていうのはどのようなところから出てきたものなのでしょうか。

渋谷教育次長

これは総合計画の作成のために作った文言という事です。ですから「学校教育ビジョン」とか「美里町の教育」という基本的な計画には使っておりません。

手島部会長

この合言葉っていうフレーズをなくして、意味合いが分かるようなほうが、使っているか使っていないか分からない合言葉という。今からしたいのかなというのであれば「合言葉とし・・・」とか、今から進めて行くよと。

佐々木委員

これは総合計画のキャッチフレーズとしてこういう言葉を使いたいということが出てきたんじゃないかと。これには無いですね。今までの中には、これを目玉にしたいということが出てきたのかなと思います。

羽生委員

これを合言葉にしたいという方向で・・・。

手島部会長

難しいかなと思います。合言葉を取って文章化したほうが良いんじゃないかと。先ほどの人づ

くりとか人間として成長していくとか、年代に合わせて云々といったほうが・・・。「学力が高く」というのは学力の向上なのか・・・。「確かな基礎学力の向上を図る」というのは凄く良いと思います。その前後の合言葉のところと・・・。まちづくりの原点は教育という考え方は悪くないんですけど、それをキャッチフレーズにしてしまうと文章が難しくなるので。

青木委員                   これは今後使っていききたい文言なのですか。この計画の中だけの文言ですか。

渋谷教育次長            そうですね。

手島部会長               まちづくりの原点は教育という考え方は悪くないのですが、その言葉を進めていきたいのかどうか。このまま活かすか文章化してしまうかですね。

青木委員                   この言葉は「まちづくりは人づくり」というところから来ているのでしょうか。

佐々木委員               そうでしょうね。私もそう考えました。教育とは人を育てることですから。ただ教育とは何の教育なのかと。人づくりという言葉のほうが落ち着くと思います。

青木委員                   この「合言葉」というところを、言い方を変えれば良いんでしょうね。

高橋まちづくり推進課長   先ほど佐々木委員さんが話されたように、目標になるものと思います。委員さんが話された違う言葉にした方がとらえやすいのかなと思います。

手島部会長               ただ目標にする場合には言い方を変えないと目標にはならないですね。内容ではなくて文章表現を。「まちづくりは人づくりです」に掛けたいのであれば、ここから人づくりという言葉が入ってくるのでしょうか。教育によって人が育まれていくという意味合いなのでしょうけど。教育は大事だよということだと思うのですが。

佐々木委員               この次元の考え方というのは、まちづくりの原点は人づくりということをもとにして、例えば次の学力の向上とか、いじめや不登校をなくすことを大きな目標にして学校づくりを進めますとこの文章から読み取りました。もし直すとすれば、学力を向上させていじめや不登校をなくしていくことを目標に学校づくりをするという事だと思います。

手島部会長               いじめや不登校をなくしていくように・・・学校づくりという言葉が気になるので、進めますとか推進しますとか・・・。

佐々木委員               ゼロとなることに越したことはないのですが、ゼロに近づくことはできると思いますが。人間が生きていく生活の中で「ゼロ」は有り得るかと聞かれたら、私は難しいのではないかと思います。ゼロに近づくということは私たちの努力が必要ですし、とても良い目標だと思います。

手島部会長               マイナスのマイナスなのでおかしくなってくるんですね。最初の出だしから・・・。これは学

校教育・幼児教育は何であるかという事ですよね。

長岡委員            いじめをゼロにできるか、不登校をゼロにできるかということは難しいけれども、そこに向けて努力する必要はあると思います。「学力が高く」という表現は他に何か良い表現がないものか迷っています。それから5行目の「在宅と異なる環境」ということはどういう事なのか理解が難しいです。ただいろいろあるので、このような表現も有りなのかなとも思いますし・・・。

渋谷教育次長        「そのために」の部分までをカットして、「小・中学校において・・・」から始まればいいのでしょうか。

手島部会長            そのほうが楽ですね。「小・中学校において、確かな教育、地域とともに・・・」から始まるという事ですね。それと「小・中学校」という表現を「小学校・中学校」とした方が良いですね。

佐々木委員            すっきりして良いんじゃないですか。

渋谷教育次長        「小学校」の後の点は中ポチでなく句読点のほうがいいですよ。

手島部会長            そうですね。それから次の文面について、「基礎学力の向上」という表現ですが、基礎学力は向上させるものですかね。

渋谷教育次長        「基礎学力の向上」という表現で良いと思いますが。

青木委員            基礎的な最低限の学力という意味ですから、それがなければ応用もできないという事ですからね。基礎学力が低ければ向上させるべきだし、身につけていなければ「身に着ける」という表現になるだろうし。

手島部会長            基礎学力は低いのですか。

渋谷教育次長        現実問題として低い状況です。

青木委員            そういう状況であれば向上させなければいけないのではないかと思いますね。

長岡委員            「基礎学力が低いからその向上を図るために・・・」という言い方はできないですからね。

羽生委員            これはこのままで良いと思います。

手島部会長            それと「学校づくり」という言葉はどういう意味でしょうか。

渋谷教育次長        意味としては広いですよ。「学校づくり」という言葉にはいろいろな面があると思います。広い意味で「学校づくり」という表現にしました。

佐々木委員           ここでは3つを絡めて言っていますね。「基礎学力の向上」と「個性を尊重した人間性豊かな教育」と「地域とともに歩む」の3つをまとめて、その要素が含まれている学校をつくるという事ですね。

青木委員             そうですね。私は違和感ありませんね。

佐々木委員           「在宅と異なる環境」というのはどういう事を言うのでしょうか。具体的にはどういう事を指すのですか。

渋谷教育次長       「在宅」という言葉は、行政で良く使う用語なのですが家にいるという意味ですね。

佐々木委員           保育所、幼稚園に通っている子ども以外に、「在宅と異なる環境」にいる子供とはどういう事ですか。

青木委員             保育所と幼稚園以外で家庭にいない子供ってどういうことかという事ですよね。

佐々木委員           そのように理解しました。

鈴木園長             家庭にいる子どもという意味です。

青木委員             家庭にいるのであれば在宅と異ならない環境ですよね。施設とかそういう事になるのかなと。

佐々木委員           保育所などに3歳から入るとすれば、0歳から2歳までの子供という事ですよね。

手島部会長           「在宅」を「家庭」に直して・・・。

羽生委員             それぞれ違う環境で過ごしているという意味は分かるのですが。

青木委員             そこで格差が生まれないようにという事なんでしょうけども。

手島部会長           「質の高い幼児教育」という言葉が引っ掛かりますね。質の低い幼児教育というものはあるんですか。

渋谷教育次長       「質の高い幼児教育」という表現しますよね。

青木委員             そういう表現はしますね。ここで言いたいのは、保育所でも幼稚園でも家庭でも同じように平等な教育を受けられるようにと言いたいんだと思うので。

長岡委員             「質の高い」を取ればいいんじゃないですか。

- 羽生委員                    そうですね「質の高い」をカットで。
- 長岡委員                    「在宅と異なる・・・」というところは怎么样了ですか。
- 手島部会長                そこは「就学前の子供たちは保育所、幼稚園、家庭と、それぞれ異なる環境の中で・・・」となります。「又は在宅」を消して「家庭」としました。そうすると「異なる環境」の意味が分かりますね。最後の「進めます。」はこれでいいですか。意思表示なので断定的には・・・。
- 青木委員                    「進めたいと思います。」というよりは「進めます。」が良いと思います。
- 手島部会長                次に「青少年健全育成」の前に「家庭教育」を入れるという意見があったんですが、今回たまたま台がないので、「青少年健全育成」に入りたいと思います。「社会に対する責任を自覚し、行動力と向上心に優れ、郷土に愛着と誇りを持つ青少年が育つ環境をつくります。」この文章で、「環境をつくる」という表現が引っ掛かりました。
- 高橋まちづくり推進課長    この意味合いは、郷土への愛着というものを小さい時から育ててほしいという意味です。町外へ出た若者が郷土へ戻ってきてほしいという思いを含んでいます。郷土へ戻ってくる要素としては、郷土への愛着があることが一番望まれることです。他に該当する文言が無かったのでこのような表現にしました。
- 佐々木委員                そうすると、「社会に対する・・・向上心に優れ、」は人を育成するという事ですね。「環境」には係らないですよ。
- 高橋まちづくり推進課長    ここに一言言葉があった方が良いでしょう。
- 佐々木委員                例えば「人を育成し」とか「人づくりに努める」とか。イメージとしてはどうなのでしょう。
- 高橋まちづくり推進課長    イメージとしては、郷土に戻ってくる青少年の方々が何を魅力とと思っているのかは様々ですので、単純に知っている人がいるからなのか、あるいは都会に無い田舎の良さという事があり、田舎の良さという事から考えて「環境」という言葉を使ったんですけれども。
- 青木委員                    ここはそのまま「まちづくりを目指します。」でも良いんじゃないですか。「郷土に愛着と誇りを持つ青少年が育つまちづくりを目指します。」とか。
- 佐々木委員                そうですね。まちづくりのイメージとしてそのようにするという事ですよ。家庭、地域を巻き込んでという意味合いだと思います。
- 手島部会長                この1つの文章を2つの文章に分けてはどうでしょうか。青少年の健全育成の中で、それに対してこういう人になって欲しいというところと、郷土に愛着を持てるような環境をつくるという

事ですよ。

青木委員 特に青少年期に郷土への愛着などを育みたいという事ですよ。

高橋まちづくり推進課長 青少年期というのはとても幅広くて、青少年と呼ばれるのは小学生から25歳くらいまでを指しますので大きな幅があります。その間にという意味合いですね。

青木委員 そうすると青少年期や青少年という言葉は入れていた方が、青少年健全育成の目標としては良いですよ。「青少年期に郷土への愛着と誇りを持つ・・・」というような感じで良いんじゃないかなと思います。

佐々木委員 そうですね。

長岡委員 「責任」というのは「社会」だけに対してのものではないですよ。ただ単に「責任感が強く」ではダメなんじゃないでしょうか。

佐々木委員 ここには主語が無いですね。他はあるけれども。

長岡委員 責任感のある町民を育成するという意味でしょうから。

手島部会長 そのほうが分かりやすい気がしますね。難しい言葉でない方が良いと思いますね。責任感を持った良い人になって欲しいという事ですよ。

羽生委員 これにも「青少年期に」というのが入った方が良いでしょう。

手島部会長 両方に係って来ると思います。主語が無いと先ほど意見があったとおり、何かを入れないと・・・後半は良いと思うんですけども、責任感のある町民というところが・・・これについて施策の中で何かありますか。

高橋まちづくり推進課長 施策としましては、施策1の中に記載しています。前回の会議で説明させていただきましたが、今回施策を整理させていただいて、住民による主体的な学習の推進のなかに入れて、一部が関連するものとして、現状と課題では2番目、施策の展開は3番目、具体的な関連事業としては最後の2つが該当します。

手島部会長 社会に対する責任や向上心に優れた人材を育みますと言った場合に、これが係って来るところがないと言えない・・・。

高橋まちづくり推進課長 今回まちづくり推進課で第5章の施策で「国際交流を促進するための対策」と非核・平和にも関連してくるので、具体的な形として、担当課としてはこちらの方での施策としたいが、教育の中にはないのかという懸念から、関連事業へ記載し、具体的な事業展開は第

5章において取り組んでいく、ということで考えているところです。

手島部会長           ただこれは第1章の青少年健全育成ですので、第5章で事業展開をしていきますと言った・・・。  
全部はいろいろなところと関連しているのですが、具体的に第1章の中の一文で「次世代を担う  
青少年の育成事業の推進」という・・・。

高橋まちづくり推進課長   施策ナンバーを書いて関連という形で意見を具体的に書いていただければ。今の文言の  
整理をして頂いてよろしいですか。具体的な文書で。

手島部会長           例えば「社会に対する責任を自覚し、行動力と向上心に優れた人材を育みます。」といった場  
合に、これに沿った内容が後半に出てくるということで間違いはないという事で・・・。「育みま  
す。」で良いですか。

青木委員           「社会に対する責任」というのが何をイメージしたものなのかと言うと、例えばルールを守る  
とか・・・。

高橋まちづくり推進課長   子ども社会やあるいはそれぞれの学校や地域といった場面場面でその大きさとかが違  
うのかなと思いましたが、他の文言を探そうとしても、それぞれの範囲というものは限  
定されるもので・・・。

青木委員           全てを含んでという事ですね。

高橋まちづくり推進課長   場面場面だけではなく全体でのという意味合いもございます。

手島部会長           突然「社会に対する・・・」から始まるのではなく前にあったほうが・・・。今お話しいただい  
た内容を入れて。これだけだと世の中に対してなのかなと捉えられてしまうかもしれないので。

青木委員           責任を自覚してもらいたいという事ですね。学校とか地域とかの場で。自覚した人間を育て  
たいと。この前の部分に今言ったような場の設定などを入れても良いかもしれないですね。

手島部会長           子ども社会、学校、地域という言葉でしょうね。社会に対する責任はいろいろな意味でという  
ことですね。一度読み上げて良いですか。「青少年期に子ども社会、学校、地域など社会に対  
する責任を自覚し、行動力と向上心に優れた人材を育みます。また、郷土に愛着と誇りを持てる  
ようなまちづくりを目指します。」

佐々木委員           事業との関連で見た場合には、青少年健全育成の場合は33ページの施策の展開で「小学校区  
を単位として・・・」というところが一つと、関連事業の「次世代を担う青少年の育成事業の推進」  
次の「協働教育・・・」となるかと思いますが、その事業の要素として「責任の自覚」や「行動力」  
や「向上心」さらには「郷土愛」などの要素が事業の中にどの程度含まれているのかということ  
に関わってくると思います。それらの事業をとおして行政の指標が出てくるので、これがP D C

Aに引っ掛かってくると思います。施策の中にこのような要素が入っていると、関連事業の中にはこの要素が入っていますというように訴えることができれば、今言った文言は成り立つだろうと思います。平成27年度の事業展開の中には入っていないと、それは平成28年度・・・。

高橋まちづくり推進課長 現在、入っております。現在もやっておりますし、協働教育についても取り組んでおります。ただ、幅広い中で、特に逆に言うところある程度関わってくる部分が結構ございます。関連事業としてはそういうものがあります。

佐々木委員 今年はその薄いというときには、さらに28年度に内容を濃くするということも出てくると思います。

高橋まちづくり推進課長 その辺りは、まちづくり推進課で補助執行している状況なので、あとは教育委員会さんとの話し合いの中で事業の展開とかを決めている。それは体験学習的なものをさせて、次世代を担う青少年の育成事業というのは、高学年や中学生であれば、国際交流あるいは平和学習であったり、低学年についてはジュニア・リーダーであったり、小学校に入った方々については体験学習という事で、今のところ小牛田農林高校の学校林に行って実際に沢遊びをするというような事業があります。協働教育という事で放課後に児童館を利用できない一般のお子さん方を対象とした事業にも、それが通常的に実施している事業がある。ここがどうしてもまちづくり推進課の部分に取り込めないという教育委員会との関わりが出てくる部分ということで、ここは落とせない部分だと思います。

手島部会長 2つほどいいですか。放課後の児童の放課後支援事業に関わっていない子供たちの事業とは何でしょうか。

高橋まちづくり推進課長 今は、地区コミュニティセンターでそのような事業を実施していますので、第5章の住民活動を活発にするというところでの、地域で子供を育てるといものが、逆に言うと先ほど出てきた生涯学習との絡みもありますので、一概にこれは青少年だよ、これは生涯学習だよと明確に区別できるものではないと思いますので、複合的な形での噛み合わせになっているので、この事業との関連については見つけにくいのは事実です。総合的に地域のコミュニティセンターを中心とした事業展開をしていくという方針の中に、それを含めた事業を組んできていただいている。それを継続していくということになります。

佐々木委員 生涯学習という範疇の中では当然青少年の部分も入っているのでこれは良いと思います。31ページの青少年健全育成といった場合、小中学校や高校で学習する内容にも「責任」「向上心」「行動力」「郷土愛」などが入ってきますよね。まちづくりの分野で実施する青少年健全育成の内容の狙いと小中学校の狙いはこのような関係、この重なった部分、共有した部分がないと意味がないわけだから、共有した部分にこのようなものが入っている。だからこれが成り立つと。このようなものが入っているという事を確認しておけば、表現としては大丈夫かなと思います。

手島部会長

前回の総括で青少年の健全育成については「インターネットの普及による子ども同士のつながりの希薄さが進んでおり、ジュニア・リーダーの育成、異年齢が交流する活動、自然の良さを体験する活動などの事業を実施してきました。また、地域で青少年の育成に関わる団体及び組織との連携、健全育成の啓発活動などにも取り組んでおりますが、成果として目に見えるものとはなっていません。」ということで、これに関して今回の計画案の中では、成果として目に見えるものではなかったのでもうどうしたいのかということと、前回まで施策3となっていたところが、今回は施策1に含まれるということで、これはどのように捉えればよいのでしょうか。

高橋まちづくり推進課長

前は政策3で「青少年の健全育成」となっていますが、今回は施策1ということで住民活動という中で考えています。すぐに成果が出るものではないし、やっつけまえばそれで終わりかということもあり、時間的にかかるものは続けていくという姿勢で、総括の中ではそうとしか書きようがないというのが現実であります。例えば良い順番として出てきているのが、小学校6年生対象のジュニア・リーダーの育成がそのまま中学校に引き続きできて、高校まで繋がっていくというような流れができていたり、あるいはその年代では参加できなかったが、中学校になってから参加できたとか高校ではできないとか。成果としては目に見えるものは出てこないと思いました。今回は社会教育の部分に入っていた青少年の健全育成を全て生涯学習の中に取り込ませていただいております。なおかつ、いろいろな事業に関しても施策5（第5章）と連携しているものが多いという中身です。

手島部会長

今回の計画案の中でも、目に見える成果ではないけれども継続して行っていくというふうに捉えて良いですね。

高橋まちづくり推進課長

そういうことで、考えていただいていると思います。ですから青少年の健全育成はあっていいのかという問題もありますし、はっきり言えば、多分こちらを掲載する際には問題にもなりました。ただ教育や生涯学習といった中では、ここにしか記載できないということで、こういう方向付けのもとに事業展開はこちらで一緒にやりますよというような構成とさせていただきます。

手島部会長

前回の「青少年の学習活動の提供と社会的な自立への支援」というところと「地域の教育力を向上させるための対策」というものが、今回の施策1に全部含まれているということで、中身的には成果として目に見えるものではないけれども、このまま継続するというものが、この中に含まれていると考えて良いのでしょうか。青少年健全育成は先ほどの文章のままでよろしいでしょうか。もう一度確認します。「青少年期に、子ども社会・学校・地域など社会に対する責任を自覚し、行動力と向上心に優れた人材を育みます。また、郷土に愛着と誇りを持てるようなまちづくりを目指します。」

青木委員

今の文であれば、子ども社会や学校や地域などの中での責任を自覚するという事ですね。町の意図としては子ども社会や学校や地域などの場で育むということではないのでしょうか。社会に対する責任や行動力と向上心に優れた人材を育むというのはどちらなのでしょう。

手島部会長 自覚するのか自覚させるのか。そこで育んでもらうように整えていくのか。

青木委員 何々の場でというふうになるのか。

高橋まちづくり推進課長 その時やその場、その先の一般的な社会にも通じるということもあるので。

青木委員 それらを全て含んでの社会ということですね。

高橋まちづくり推進課長 それらをすべて含んでの意味で、必ずしもできる訳じゃありませんけども、その先は一般社会に繋がっていくものだと思いますので、青木委員さんがおっしゃったように場面場面でも必要ですけれども将来的には一般社会でというような意味合いでお考えいただければと思います。

手島部会長 責任を自覚ではなくて、責任感を育む……。責任感を身に着ける……。

青木委員 具体的な場としなくてもいいのかなと。

手島部会長 「青少年期に子ども社会や学校、地域社会などにおいて責任を自覚し……」ということで。ここまで大丈夫でしょうか。「環境」という言葉は取りました。

佐々木委員 「青少年が育つまちづくりを目指します。」ということですね。

手島部会長 青少年健全育成のところまではよろしいでしょうか。本日の議事カッコ1の部分では青少年の健全育成のところまででした。他の部会からの意見シートへの返答については持ち越したいと思います。インターネット云々については、施策の内容と言うよりはインターネットそのもの、もしくは、電磁波の問題ではないかと読み取れることから、検討案というものをこちらで考えさせていただいて、体への影響というのは電磁波について言っているのではないかと思いますので、その辺はお話を入れた方が良いのかなと思ってます。電磁波について説明をする場合はどなたかにお願いしなければならないかと思います。全てにおいていろいろな電磁波が出ているということで、インターネットが普及することによって、パソコンや携帯が人体へ影響があると騒がれているところから来ていると思います。ただ施策の内容ということではないと思いますので、その辺の回答について気を付けながら文を作りたいと思います。その他何かございませんか。次回の予定としては、全体会の前30分くらいでいいので部会を設けたいと思うのですが、よろしいでしょうか。11月1日午前9時半からということで会場は……。

渋谷教育次長 会議室の予約状況を確認し、できれば本日と同じ場所を取りたいと思います。

手島部会長 全大会後に部会を開催すると考えていたのですが、全体会前に30分くらい打ち合わせをさせていただきたいと思いますのでよろしくをお願いします。

羽生委員

来週の全体会の内容によっては、私たちの部会の内容も大きく変わるようですので、よろしく  
お願いしますお疲れ様でした。

審議終了

- 午前・午後 0時 00分 終了 -

上記会議内容に相違ないことを認め、ここに署名する。

会議録署名委員 教育文化部会 部会長

教育文化部会 委員